

第3回 原子力道場

国際原子力基礎教育
TVセミナー

テーマ「放射性廃棄物の管理」

TV 講義配信校 / 名古屋大学

開催日 / 2018年 1月 10日(水)

<講義プログラム>

*講義プログラムは当日変更になる場合があります。予めご了承ください。

| 時 間 | 講 義 題 目 | 講 師 |
|-------------------------------|---------------------|---|
| 10:30 ~ 10:35 | 開会の挨拶 | コーディネータ 井口 哲夫 名古屋大学エネルギー理工学専攻 教授 |
| 講義一 1 10:35 ~ 11:55 | 原子力燃料サイクルのバックエンド | 榎田 洋一 名古屋大学総合エネルギー工学専攻 教授 |
| 講義一 2 13:00 ~ 14:20 | 発電所廃棄物の管理 | 角田 利晴 中部電力原子燃料サイクル部 バックエンド輸送グループ 課長 |
| 講義一 3 14:30 ~ 15:50 | 使用済燃料と高レベル放射性廃棄物の管理 | 澤田 佳代 名古屋大学未来材料・システム研究所 准教授 |
| 講義一 4 16:00 ~ 17:20 | 放射性廃棄物処分の安全性能評価 | 亀井 玄人 日本原子力研究開発機構バックエンド 研究開発部門 基盤技術研究開発部長 |
| 17:20 ~ 17:25 | 閉会の挨拶 | コーディネータ 井口 哲夫 名古屋大学エネルギー理工学専攻 教授 |

～ 平成29年度第2回受講生の声 ～

災害に対する安全対策についてはよく耳にしていたが、知らなかったテロや核不拡散への対策についてや、核セキュリティの重要性を認識できました。

(理工系・修士1年)

さまざまな高度な技術によって運用されている原子力発電において「人」の力は必要不可欠である。

(理工系・修士2年)

事故が発生した際、最終的な安全を守る砦になるのは「人」であること、また過酷な事故では現場と、現場の外では感じ方が違うということを知った。

(理工系・学部4年)

社会技術システム・レジリエンスエンジニアリングの話は理工系のどの分野においても勉強になるのだと思う。

(文系・修士1年)

参加申し込みはこちらのURLから *申込み締切 1/9 (16:00まで)
www.lane.iir.titech.ac.jp/d-atom



第1回、第2回TVセミナー受講風景

(湘南工科大学会場)

(山梨大会場)

[国際原子力基礎教育TVセミナー事務局]

所在地 / 〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 (N1-15)

東京工業大学 科学技術創成研究院 先導原子力研究所

「グローバル原子力人材育成ネットワークによる戦略的原子力教育モデル事業」

大学連合 ATOM

E-mail / g-dojo@lane.iir.titech.ac.jp TEL / 03-5734-2188

ホームページ / www.lane.iir.titech.ac.jp/d-atom

*この事業は文部科学省「平成29年度原子力人材育成等推進事業補助金」によって開催されます。

◎このTVセミナーは、大学生・高専生を主な対象として、遠隔TVシステムにより講義配信します。なお、一般の方にも受講頂けます。

◎お近くの会場を選んで申込み頂けます。

各会場の詳細はホームページでご確認ください。

◎拠点会場によりTVシステム環境が若干異なるため、映像・音声の遅れや不具合等が生じる可能性があります。予めご了承ください。